

# 集い、くつろぎ、楽しめるアーバンリゾートを目指して ～旭川水辺再生の取組～

国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所 調査設計課長 千野 貴彦

## 1. はじめに

旭川は、岡山県の中央部に位置し、その源を真庭市蒜山(ひるぜん)の朝鍋鷲ヶ山(あさなべわしがせん)に発し、途中、百間川を分派した後、岡山市の中心部を流れ児島湾に注ぐ一級河川です。

旭川下流部には、岡山藩の城下町であり、江戸時代から栄えてきた政令指定都市の岡山市が位置し、この地域の社会・経済・文化の基盤を形成しています。

旭川は、室町時代には高瀬舟による舟運が始まったとされており、江戸時代には河口と上流の勝山を結ぶ航路が開かれ、高瀬舟が物資輸送の主役でした。現在では、水辺の自然環境、河川敷のオープンスペース等において、スポーツ、自然散策、各種イベント等様々な目的で利用されるとともに、漁業も営まれています。

JR 岡山駅から東に約1kmのところ、蛇行する旭川を挟むように、旭川の水を引き込んだ回遊式庭園で日本三名園の「岡山後楽園」と鳥城(うじょう)で知られる岡山城があり、岡山を象徴する場所として市民に親しまれています。



岡山後楽園・岡山周辺の旭川

岡山後楽園の東側に位置する約1.3kmに連なるソメイヨシノは、「旭川さくらみち」の愛称で親しまれており、3月下旬から4月上旬にかけて開催される「岡山さくらカーニバル」では毎年10万人前後の市民で賑わっています。

また、岡山城から南に約0.5km離れた河川敷では、月に一度の「京橋朝市」が市民の手によって開かれており、平成元年から通算で344回を数えるなど、

水辺のにぎわい再生の取り組みとして定着しています。

さらに、岡山城・後楽園周辺の旭川において、「カーヌー駅伝大会」や「旭川遠泳」など市民による河川利用がなされています。



岡山さくらカーニバルの様子



京橋朝市の様子



旭川遠泳の様子

## 2. 旭川の水辺空間再生に向けた取り組み

岡山城・後楽園周辺の旭川は、美しい水辺景観が形成され、豊かな自然・歴史・文化を感じられる市民の憩いの空間となっています。

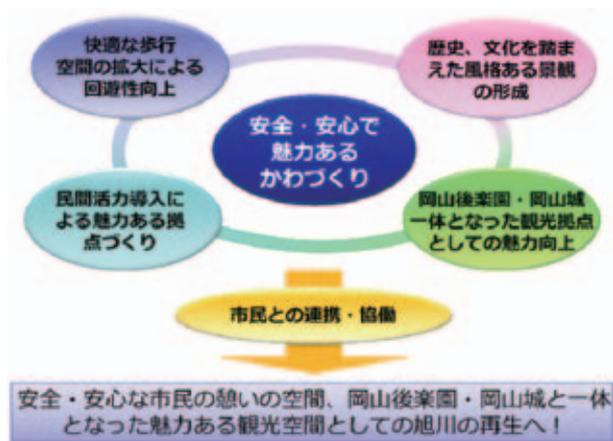
しかしながら、岡山城・後楽園周辺には、中心市街地から近いが利用者が少ないこと、水辺への

アクセスが不便なこと、必ずしも快適な歩行空間になっていないといった課題があります。

こうした課題に対応するためには、平成10年、23年の洪水被害や、近年の激甚化する降雨等に鑑み、水害に強い安全なまちづくりを進めるものはもちろんのこと、市民の憩いの場としての水辺づくりや、歴史や文化を生かし歩いて楽しめるまちづくり、岡山中心市街地全体へ人の流れを生み出す回遊性の向上の視点も踏まえ、旭川の整備を検討することが求められます。

平成27年5月28日には、地域の経済界や大学、関係行政機関が一緒になって、旭川の水辺の利活用や岡山後楽園、岡山城周辺を中心としたまちづくり、それらと連携した旭川全体にわたる川づくり等について意見交換を行い、今後の河川整備やまちづくりに資する旭川の水辺再生戦略を検討するため、「岡山市中心部における旭川水辺空間再生に向けた戦略会議」（略称：旭川水辺再生戦略会議）が発足しました。メンバーは、岡山市長、岡山商工会議所会頭、岡山大学副学長、岡山県土木部長、岡山河川事務所事務所長の5名で構成しています。

1回目となる会議では、岡山城・後楽園周辺の旭川の現状と課題が報告され、旭川水辺空間再生の方向性が決定しました。また、会議の中で、市民参画を促すため、ミズベリングを旭川で行うことが決定しました。



旭川水辺空間再生の方向性

### 3. ミズベリング岡山旭川

かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していく「ミズベリング・プロジェクト」が全国で展開しており、プロジェクトの一環として、市民や企業、行政が一体となって水辺について考える「ミズベリング会議」が全国各地で開催中です。

旭川においても、岡山市中心部における旭川水辺空間再生に関して、市民の積極的な参画を促す

ためのきっかけをつくるとともに、旭川の岡山後楽園・岡山城周辺を中心とした魅力あるかわづくり・まちづくりを考えることを目的として、平成27年10月31日（土）に「ミズベリング岡山旭川」を開催しました。

主催は、ミズベリング岡山旭川実行委員会、旭川水辺再生戦略会議構成機関（岡山市、岡山県、岡山河川事務所、岡山商工会議所、岡山大学）を中心に、岡山カヌークラブ、NPO法人ENNOVA OKAYAMA、（公財）岡山市公園協会、（公社）おかもと観光コンベンション協会が構成しています。

なお、各イベントの参加方法は、事前申し込みとし、実行委員会メンバー全員でチラシやポスター、ホームページなどにより募集を広報しました。

#### 3.1 オープニングイベント・桜の植樹

午前に行われたオープニングイベントは後楽園の東側、旭川さくらみちの愛称で親しまれる桜並木の河川敷で行われました。

オープニングでは、旭川水辺再生戦略会議のメンバーをはじめ、国会議員、地元町内会長などの関係者が参加して、旭川さくらみちに約半世紀ぶりに桜の植樹が行われました。

また、参加者全員に、桜の剪定枝で作成した記念のコースターを配布しました。



大森岡山市長による記念植樹



植樹した関係者一同で記念撮影

### 3.2 旭川かわまちウォーク

旭川の魅力を再発見し、水辺の活用の可能性について考えていただくため、2つのコースに分かれて、旭川周辺のチェックポイント（各コース6箇所）を周りながら散策していただきました。

旭川の水辺を直接見て、感じていただき、午後からのワークショップにも参加された方からは、様々なアイデアを提案していただきました。



旭川かわまちウォークの様子

### 3.3 カヌー体験

水辺のアクティビティとして、カヌー体験をおとして、旭川の水面の魅力を感じていただきました。参加者の皆さんからは、「とても楽しい」「またやりたい」などの感想をいただきました。また、石山公園イベントに訪れた皆さんも、旭川の水面がにぎわう様子を楽しそうに眺められていました。



カヌー体験の様子

### 3.4 石山公園イベント

石山公園は、普段から休日になるとアートや食事に関するイベントが行われている場所です。

ミズベリング岡山旭川では、この日に合わせて、フルーツパフェ、カレー、オープンカフェに加え、飲食、クラフト&マーケットなどが出店した「後楽の森と川パークマーケット」（出店数、約40店）が併せて開催されました。

訪れた皆さんには、石山公園、岡山城・岡山後楽園周辺の旭川の広々とした開放的な空間を楽しみながら満喫していただきました。



パークマーケットの様子



オープンカフェ（岡山市 社会実験）

### 3.5 ワークショップ

ワークショップは、「トークセッション」と「ワークショップ」の2部構成で開催しました。

トークセッションでは、様々な分野のゲストスピーカーから、ミズベリングプロジェクトの概要、パブリック（公共）の考え方、旭川の持つ生物多様性、全国の水辺の活用事例などが紹介されました。

ワークショップでは、旭川と岡山城・後楽園周辺のかわづくり・まちづくりについて考えていただきました。

「集う・憩う・楽しむためのアイデア」を共通テーマとして、水辺への緩やかなスロープの設置、ももボートで通勤、巨大な桃を浮かべる、屋形船などの舟運、ベンチ、オープンカフェなどの休憩場所を設ける、ライトアップイベントな様々なアイデアを頂きました。



トークセッションの様子



ワークショップの様子

### 3.6 清掃活動

ミズベリングの前日にミズベリング岡山旭川の会場周辺において、プレー齊清掃を実施しました。プレー齊清掃は、ミズベリング岡山旭川実行委員会および関係者、約20名に協力をいただき、1時間程度、清掃活動とともに、会場、コースの状況確認を行いました。清掃により回収されたゴミは、空き缶、空き瓶、ペットボトルなど、約10袋分となりました。

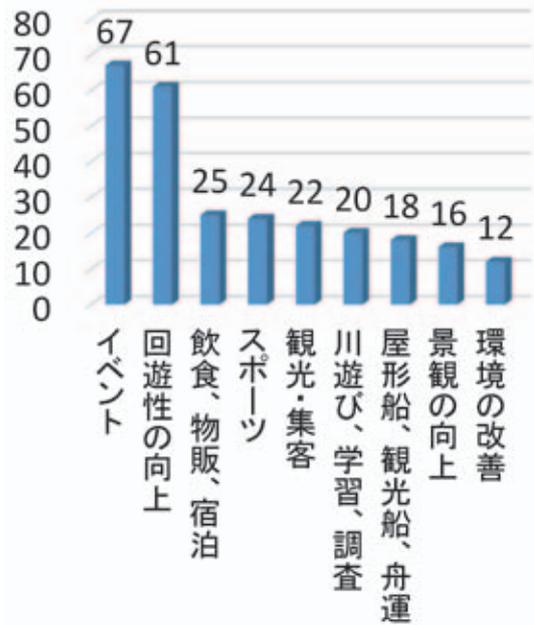
イベント後も快適な河川空間が維持できるよう、ミズベリング岡山旭川当日も、旭川かわまちウォーク終了後、石山公園イベント終了後において、関係者で協力して会場周辺を清掃しました。

### 3.7 ミズベリング岡山旭川・アンケートを通じて得られたアイデア・意見

ミズベリングの参加者を対象に、岡山城・岡山後楽園周辺の旭川の水辺空間における利用状況、ニーズ、意見等を調査し、旭川を中心としたにぎわいの拠点づくりの検討に資することを目的としてアンケートを実施しました。

アンケートは140票集まり、全てのイベントについて半数以上の参加者から回答が得られました。アンケート結果では、ミズベリング岡山旭川について、改善意見も複数あったものの、「継続の希望」や「良い・楽しい」等の賛成意見が大勢を占めました。

また、ワークショップで得られたアイデアは約250にのぼり、イベント、回遊性の向上についての意見が多く、続いて飲食・物販・宿泊等の商業施設、カヌー・ランニング等のスポーツ、観光案内所・水上ステージ等の観光・集客施設があげられました。



#### ● 美しい景観の保全と活用

- 旭川さくらみちの桜並木の保全
- 豊かな自然や美しい景観を活かした取組

#### ● 回遊性の向上

- 連続性（階段、スロープ）、歩行性（散策路、水辺の回廊）の改善
- 休憩場所の設置（ベンチ等）
- 散策・ランニングコース、植物・生物・歴史等の案内・説明

#### ● 日常のにぎわい創出

- 訪れた人が集い、とどまれる空間（カフェ等）

#### ● 継続的な情報の発信

- ミズベリング岡山旭川の開催

アンケート、ワークショップアイデアから得られた水辺空間活用の視点

## 4. 今後の展望

「アーバンリゾート」ともいえる水辺空間を目指して、ミズベリングで得られた意見・アイデアについては、平成28年1月20日の第2回旭川水辺再生戦略会議で報告・議論されました。

会議では、今後もミズベリングを継続していくとともに、概ね5年かけてにぎわい創出と回遊性の向上に向けたソフト・ハード施策を集中して取り組むことが確認されました。

今後も引き続き治水対策を通して安全・安心な地域づくりに貢献するとともに、後楽園・岡山城周辺における水辺の回遊性や親水性の確保、憩い・にぎわいの空間創出により、歴史・文化や豊かな自然環境を都市部に居ながら身近に味わえる「アーバンリゾート」を目指して、産学官連携して取り組んでまいります。